

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(2022.01.16)

文・写真：武田、写真：山 國

日時：2022(令和4)年 1月 16日(日) 9:30～15:00

気象：晴(気温 3～4℃)

活動エリア：45 林班ろ-04(昨年 12/19 活動エリアの地続き：活動地要図は省略)

活動内容：地域環境保全(里山林保全)

参加者(会員)：猪川 誠、内海宏一、大本孝子、工藤貴士、倉谷邦雄、黒山泰弘、竹歳三喜子、武田壽夫、
中川義行、湊 亮、宮本廣、山田真也、山本國夫 会員 13 名

<寒中お見舞い>

◆明日は小寒、「寒の入り」に相応しく山には丹波で降り残した雪が残っている。小屋までのアスファルト道では日陰の徐行が肝要。日照に恵まれ、風が無いのが幸い。余禄として、作業を早めに切り上げ、正月に賞味し損ねた「ぜんざい(*)」を頂く。冷えた躰に有難い「よきかな よき哉」である。

(帰途、自然歩道の里道分岐に猟友会の面々。猪退治に出張った模様で活動地周辺の出没痕跡を聞かれる)



←「ぜんざい」とは：仏教で「よきかな」の意味、最初に食べた一休さんが言ったことに由来とか。もう一つ、[出雲](#)地方の[神事](#)「神在祭」で振る舞われた「神在餅」の「じんざい」が訛り、「ぜんざい」に転訛したとも言われている、そうなの。

<今日の成果>

活動地は緩傾斜の尾根、足元もしっかりしていて作業は大いに捗る。二班に別れ、各班にチェーンソー1台。枯損木・過密常緑広葉樹の除伐を含め計 $40 \times 100\text{m} = 0.4\text{ha}$ を林床整備。

<写真編①>

【自然歩道には雪が残る】



【捻れ木。絡んだ蔦が枯れ落ちた?】

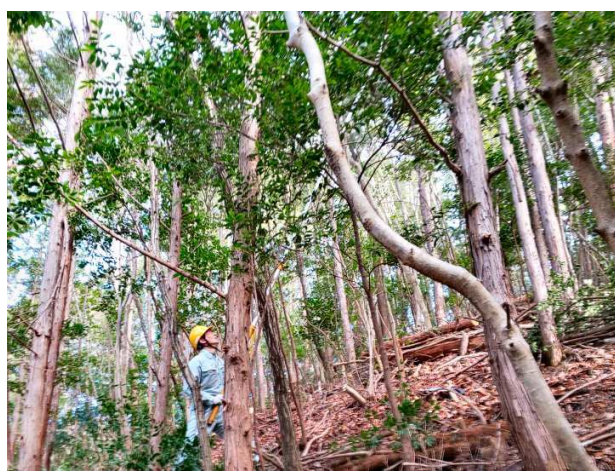


<写真編②>

【山腹の林床整備中】



【枯れ枝切り中】



【常緑広葉樹の除伐】



【左の作業後-枝は右下に棚積み】



【作業開始時の現場一例】



【左の作業後-スッキリした山腹】

